

1. 科目名 (単位数)	音楽科指導法 (2 単位)	3. 科目番号	SJMP2294 SJMP2394
2. 授業担当教員	松本 岳志		
4. 授業形態	講義、演習 (全員、個人、グループ)	5. 開講学期	秋期 (伊勢崎・池袋)
6. 履修条件・ 他科目との関係	各学部1年次に配当されている音楽科目を履修済みのこと。		
7. 講義概要	<p>本講義では、小学校教育における音楽科の役割、目標、指導内容、児童の音楽的発達について理解し、初等教育に従事する教育者として必要な指導法の基礎を身に付ける。</p> <p>具体的には、まず学習指導要領に記載されている音楽科の目標について理解する。次に、小学校音楽科の指導内容 (表現 [歌唱・器楽・音楽作り]・鑑賞指導の意義・留意点、共通事項) について理解する。</p> <p>それまでの学修内容を踏まえ、学習指導計画の意義、構成、内容の取扱い、音楽科の評価について理解し、指導案作成を行う。作成した学習指導案をもとに模擬授業を実施し実践感覚を高めるとともに、その振り返りを通して授業改善の視点を身に付ける。</p>		
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 初等教育における音楽科の役割、目標を理解する。</li> <li>2. 初等音楽科の指導内容と指導上の留意点を理解し、それぞれの領域の指導法を身に付ける。</li> <li>3. 音楽の基礎的知識・技能を身に付け、教材研究を行うことができるようになる。</li> <li>4. 児童の音楽的発達段階について理解する。</li> <li>5. 情報機器及び教材を音楽科の授業において効果的に活用することができるようになる。</li> <li>6. 学習指導計画の意義、構成、内容の取扱い、音楽科の評価について理解する。</li> <li>7. 実践的な学習指導案を作成することができるようになる。</li> <li>8. 模擬授業を通して授業実践の感覚を養うとともに、その振り返りを通して授業改善の視点を身に付ける。</li> </ol>		
9. アサイメント (宿題) 及びレポ ート課題	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 歌唱共通教材及び鑑賞教材の教材研究を行い、それをもとに模擬授業も行う。</li> <li>2. 学習指導案を作成して、提出する。</li> <li>3. 小学校音楽科教育に関する試験を課す。</li> </ol>		
10. 教科書・参考書・ 教材	<p>【教科書】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●保育児童学部 『改訂版 最新 初等科音楽教育法 初等科音楽教育研究会 編 (音楽之友社)』</li> <li>●教育学部 1年次に履修した音楽系科目で使用した教科書を継続使用する。</li> </ul> <p>【参考書】</p> <p>河口道朗 編著『音楽教育入門 ― 基本理念の構築』音楽之友社 文部科学省『小学校学習指導要領』東京書籍。 山下薫子編著『平成 29 年度版 小学校新学習指導要領 ポイント総整理』東洋館出版社</p>		
11. 成績評価の規準 と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 初等教育における音楽科の役割、目標を理解している。</li> <li>2. 初等音楽科の指導内容と指導上の留意点を理解し、それぞれの領域の指導法を身に付けている。</li> <li>3. 音楽の基礎的知識・技能を身に付け、教材研究を行うことができる。</li> <li>4. 児童の音楽的発達段階について理解している。</li> <li>5. 情報機器及び教材を音楽科の授業において効果的に活用することができる。</li> <li>6. 学習指導計画の意義、構成、内容の取扱い、音楽科の評価について理解している。</li> <li>7. 実践的な学習指導案を作成することができる。</li> <li>8. 模擬授業を通して授業実践の感覚を養い、その振り返りを通して授業改善の視点を身に付けている。</li> </ol> <p>○評定の方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習指導案の内容 20%</li> <li>・模擬授業の内容 30%</li> <li>・授業への積極的参加度 20%</li> <li>・学期末試験 30%</li> </ul>		
12. 受講生への メッセージ	<p>音楽科教育は、ただ単に子ども達と楽しく歌を歌っていれば済まされるような教科ではありません。その役割や意義、子どもの発達など教育の専門家として必要な知識を得るよう努めて下さい。また、豊かな音楽経験を子ども達と共有しながら指導していくためには、音楽的知識や高い演奏技術も要求されます。これらを身に付けることは容易ではありませんが、日々地道な教材研究と練習を重ねていってください。そして、自らが音楽を愛好する心情を持って授業に臨むようにしましょう。</p> <p>※本授業では課題レポートの代わりに、試験を課します (9. 及び 11. を参照のこと)。</p>		
13. オフィスアワー	初回授業 (オリエンテーション) の際に周知する。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第 1 回	科目の概要 (オリエンテーション) 音楽科の意義: DVD を観て ※レポート作成	事前学習	学習指導要領: 「第 1 目標」、及び教科書 pp.8~11 を読んでおくこと。
		事後学習	音楽科の意義に関するレポート作成及び提出。
第 2 回	音楽科の目標と内容 共通事項について 歌唱共通教材の担当決め	事前学習	学習指導要領: 「第 2 各学年の目標及び内容」に記載されている「1 目標」を読んでおくこと。また、教科書 pp.12~26 まで読んでおくこと。
		事後学習	音楽科の「目標」「内容」「共通事項」について復習し、理解すること。また、指定された歌唱共通教材の教材研究を始めること。
第 3 回	学習計画と音楽科の学習指導案	事前学習	教科書 pp.27~35 まで読んでおくこと。
		事後学習	「題材」や「学習指導案」について理解するとともに、指定された歌唱共通教材の教材研究を進め、指導案作成の準備をすること。

第4回	音楽科の評価について 児童期の発達特性と音楽的発達 ※学習指導案作成	事前学習	教科書 pp.36～47 まで読んでおくこと。
		事後学習	「評価」と「児童期の音楽的発達」について理解すること。また、学習指導案を作成し提出すること。
第5回	歌唱指導の意義と留意点 移動ド唱法と固定ド唱法 変声期の指導について	事前学習	学習指導要領：「第2 各学年の目標及び内容」の「2内容 A表現(1)」を読んでおくこと。教科書 pp.52～60 まで読んでおくこと。
		事後学習	歌唱指導のポイントについて理解すること。また、指定された歌唱共通教材の指導を行えるよう準備すること。
第6回	歌唱共通教材①：模擬授業 1年生：うみ、かたつむり ひらいたひらいた、ひのまる 2年生：かくれんぼ	事前学習	本授業用 HP を閲覧し、第6回で扱う歌唱共通教材を歌唱できるようにしておくこと。また、各教材の歌詞について理解しておくこと。
		事後学習	第6回で扱った歌唱共通教材の復習を行い、自らが指導できるようにすること。
第7回	歌唱共通教材②：模擬授業 2年生：春がきた、虫のこえ、夕やけこやけ 3年生：茶つみ、うさぎ	事前学習	本授業用 HP を閲覧し、第7回で扱う歌唱共通教材を歌唱できるようにしておくこと。また、各教材の歌詞について理解しておくこと。
		事後学習	第7回で扱った歌唱共通教材の復習を行い、自らが指導できるようにすること。
第8回	歌唱共通教材③：模擬授業 3年生：春の小川、ふじ山 4年生：さくらさくら、とんび	事前学習	本授業用 HP を閲覧し、第8回で扱う歌唱共通教材を歌唱できるようにしておくこと。また、各教材の歌詞について理解しておくこと。
		事後学習	第8回で扱った歌唱共通教材の復習を行い、自らが指導できるようにすること。
第9回	歌唱共通教材④：模擬授業 4年生：まきばの朝、もみじ 5年生：こいのぼり、スキーの歌	事前学習	本授業用 HP を閲覧し、第9回で扱う歌唱共通教材を歌唱できるようにしておくこと。また、各教材の歌詞について理解しておくこと。
		事後学習	第9回で扱った歌唱共通教材の復習を行い、自らが指導できるようにすること。
第10回	歌唱共通教材⑤：模擬授業 5年生：冬げしき、子もり歌 6年生：おぼる月夜、ふるさと われは海の子	事前学習	本授業用 HP を閲覧し、第10回で扱う歌唱共通教材を歌唱できるようにしておくこと。また、各教材の歌詞について理解しておくこと。
		事後学習	第10回で扱った歌唱共通教材の復習を行い、自らが指導できるようにすること。
第11回	音楽科における ICT 活用 ※レポート作成楽器指導の意義	事前学習	教育における ICT 活用の現状と未来、様々な課題について調べておくこと。
		事後学習	音楽科における ICT 活用について復習し、理解すること。また、自らが授業で有効活用できるよう継続学習すること。レポートを作成し提出すること。
第12回	楽器指導の意義 楽器指導①：打楽器の奏法と合奏指導	事前学習	学習指導要領：「第2 各学年の目標及び内容」の「2内容 A表現(2)」を読んでおくこと。また、教科書 pp.61～68 を読んでおくこと。
		事後学習	楽器指導上の留意点について復習し、理解すること。また、打楽器類の奏法について復習し、自らが指導できるようにしておくこと。
第13回	楽器指導②：ソプラノ・リコーダー	事前学習	教科書 pp.69～71 まで読んでおくこと。ソプラノリコーダーの運指を確認し、演奏できるようにしておくこと。
		事後学習	ソプラノリコーダーの指導上の留意点について復習し、自らが指導できるようにしておくこと。
第14回	音楽づくり 歌唱共通教材 6年生「越天楽今様」及び雅楽について	事前学習	学習指導要領「第2 各学年の目標及び内容」の「2内容 A表現(3)」、及び教科書 pp.83～92 を読んでおくこと。
		事後学習	「音楽づくり」の指導上の留意点について復習し、理解すること。また、様々な「音楽づくり」の実践事例を参考にし、自らが指導できるようにしておくこと。雅楽及び越天楽今様について復習すること。
第15回	鑑賞の意義 発達段階に合った鑑賞指導	事前学習	学習指導要領「第2 各学年の目標及び内容」の「2内容 B鑑賞」、及び教科書 pp.93～97 を読んでおくこと。
		事後学習	鑑賞の意義や、発達段階を考慮した教材選択及びその指導法について復習しておくこと。様々な音楽的特徴を持った鑑賞教材の指導方法について復習し、自らが指導できるようにしておくこと。
期末試験			